

平成26年度 川場村のあゆみ



<道の駅“川場田園プラザ”全国モデルに選定>

国の重点施策である「地方創生事業」は、地方の活性化と人口減対策のための施策を総合的に進めることとし、全国各地の道の駅を地域創生のための重要な拠点施設として位置づけました。全国で1040箇所ある「道の駅」のうち、地元の名物や観光資源を活かして多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上にも貢献している特に優れた「道の駅」を全国のモデルとして6駅選定しました。そのひとつに道の駅“川場田園プラザ”が選ばれました。「農業プラス観光」を基本施策とし、地域資源を活用して試行錯誤しながら様々な取り組みを重ね、地場産品の直売や地域食材を活かした飲食物の提供などで地域の活性化に大きく貢献していることが高く評価されました。

今後は、全国モデルの「道の駅」として、各施設の企画推進へ向けて専門家によるアドバイスや、活用可能な各省庁の交付金を優先的に紹介されるなど重点的に支援を受けることができます。本村の産業・情報・交流の核である「道の駅」の機能をさらに充実させ、住みよい環境を確保するとともに将来にわたって活力ある川場村を継続していきます。

～自民党地方創生本部が来村～

国では、地方の個性を尊重し活気あふれる自主的な取り組みを後押しする政策を検討しています。自由民主党地域創生実行統合本部関係者が、道の駅川場田園プラザにて地域の声や実情を視察されました。



<ライスセンター完成>

川場村では、生品宮山地区に「川場村ライスセンター」を建設しました。乾燥作業や精米などを担うライスセンター建設事業は、「群馬県強い農業づくり交付金事業」の補助事業で整備され、26年産米から本格稼働しました。村ではこの施設を有効に活用し、米の品質向上や農家の負担軽減など農業経営の安定化を目指していきます。安心安全で美味しい川場産米を広く全国にアピールするとともに新たなブランド米の開発などにも繋がりたいと考えています。また、川場村の美しい田園風景を保全する役割も担っていきます。



<雪ほたか8年連続金賞受賞>

「第16回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」の国際総合部門において、雪ほたかは8年連続で金賞を受賞しました。8月の台風の影響や9月上旬の低温などで、作柄は悪く、大会の成績が心配されましたが、県内からは、国際総合部門の最終ノミネート40点中に8点が残りに、食味審査の結果6点が最高賞の金賞を受賞した。



<KAWABA国際自然文化サミット2014>

福田康夫元総理大臣、吉川副知事を始めとする県内の要人をお迎えし、川場村文化会館や道の駅田園プラザなどにおいて、「KAWABA国際自然文化サミット」が開催されました。福田元総理の基調講演をはじめ、地元の観光資源を世界へ発信するためのシンポジウムやミラノ万博出品予定の「エコスープ」の完成試食会なども行われ、今後も自然と人間の豊かな関係を様々な分野で展開します。



<第1回上州武尊山スカイビュー・ウルトラトレイル>

この大会は、武尊山を舞台に伝説の古道や埋れた登山道を復活させて開催され、約2000名の選手が全国から参加されました。特に、120kmコースは34時間耐久レースで、海外のウルトラトレイルに通じる技術難易度の高いコースとなりました。大会期間中は天候に恵まれ、武尊山や雨乞山からの眺望は、大会名のとおり「スカイビュー」で、多くの参加者からは完走した喜びとその景色への感動の声が聞かれました。



<中学生の新たな国際交流事業>

川場村では、諸外国の生活や文化を見聞し、異文化体験をすることで国際感覚を身につけ、国際性豊かな子どもを育成することを目的に中学3年生を対象とした国際交流事業を平成7年度より実施・継続しています。平成26年度で20回目を迎え、現在までに参加した生徒数は754人となりました。いくつかの内容を見直したものの20年間一貫して変わらないことはスターバリーでの「ホームステイ」です。生徒たちは初めてスターバリーミドルスクール（中学校）を訪れ、友好の証として記念樹のリンゴの木を植えました。コザイア校長先生は「将来はスターバリーの生徒たちが川場村に訪問できるようになることを期待している」と語っていました。



<川場中剣道部女子 20年ぶりの全中出場で敢闘賞獲得>

高知県で開催された「第44回全国中学校剣道大会」に川場中学校剣道部女子が出場し、団体戦で見事敢闘賞を獲得しました。剣道部女子チームは、秋の新人戦・春季大会・夏の総体の群馬県大会では全て優勝し、不動の地位を築き上げてきました。関東大会でも日々の稽古に精進した結果、攻めきって準優勝を勝ち取りました。



<川場中・アルペンスキー競技で全中出場>

青森県の大鱈温泉スキー場で開催された「全国中学校総合体育大会」のアルペンスキー競技大回転で、川場中学校3年生が群馬県代表として出場しました。全国の壁は厚く結果は残せませんでした。が、中学校時代の集大成として悔いのないレースができました。



<川場小金管バンド：全国大会で銀賞初受賞>

「川場キッズ」は、全日本小学校バンドフェスティバルに4年連続出場し、過去最高の銀賞に輝きました。放課後や休み時間はもちろんのこと、休日にも練習を重ねて、子どもたち・先生方・保護者が心一つにして頑張った結果であるとともに、小さな村の小学生の活躍が全国で注目されました。

